



いたわり

2011年5月号, No 124
(おりのキュート(救)健康新聞)

マザーの会
おりのキュート
健康教室

第15回「マザーの会」(母乳育児相談・子育て相談・子育て)
〈日時〉5月19日(木)午後2時~3時30分
〈講師〉むなかた助産院 助産師 賀久はつ先生

第238回「(おりのキュート)玉名店 健康教室」
〈日時〉5月26(木)午後2時~3時
〈場所〉(おりのキュート)玉名店 2階健康教室(マザーの会も)

羊水が半分になったのに助かった奇跡の赤ちゃん!

玉名在住の現在37才のIさんは30才で女の子を出産したがその後なかなか授からず34才の時不妊治療に通う。治療をしたが授からず治療を止めた所、妊娠。しかし、1ヶ月で流産。食生活にも問題があったので、身体をきちんとお掃除し命を迎える準備が必要とお話して「バイリンク」を食べてもらう。しばらく食べが続き、一年して再び妊娠。今度は妊娠がわかちおろか1週間ほど流産してしまう。去年の6月、再び妊娠がわかる。もう私達も悲い結果を聞きたくないと、今度は最初から「バイリンク錠剤」だけでなく「源液」も飲んでもらうことになり必死にお話した所きちんと食べられる事を約束してくれた。4ヶ月まで無事に推移したが突然破水して入院。羊水が半分にまで減ってしまっている。胎児が助かる可能性は、おろか10%...90%が馬鹿だぞとの予測の中、Iさんはパニックになり病室で大泣いているとIさんの母親が「どうして...?」と来店。すぐに「もうこれしかないよ」と「503」を渡す。「これで助かろうか?」助かるとは助からないのはわかる。でも503は胎児にも母親にも決して悪くない。私は503の命の選択を信じる。(錠剤1日100錠、源液30mm 503は3~4本)3日目に羊水が半分に戻り胎児もお腹の中でずく元気との報告。1ヶ月の入院で退院。また2週間くらいして水が出てきたと入院。間11才ら調子が良かったので503を減らしていたとの事。しっかり飲んで退院。安定期に入ってから源液と錠剤を。体調も良く、仕事にも復帰して元気に過ごしていた。今年1月、Iさん本人がインフルエンザにかかり40度を超える高熱が出たが、503でしのぎ回復した。予定日は3月18日。上の娘の卒園式に出たので、早く生まれよう。ドクターに頼むと言った「赤ちゃんは産むのではなく、自分から自分の意志で生まれてくるもの。決してこの都合を押し出す毎日お腹をなでるお願いして」と賀久先生に教えて頂いて話を納得してもらった。18日から2週間経っても連絡が来ずお酒を飲んで28日に大きなお腹で来店。31日までまて生まれなければ「足産剤」の処置をするとの事。お腹をなで「もう出てきていいよ。みんな楽しみに待ってるよ」と話しかけた。次の日の朝一番にIさんのお母さんから電話。夜中3時に無事に普通分娩で生まれたとのこと!

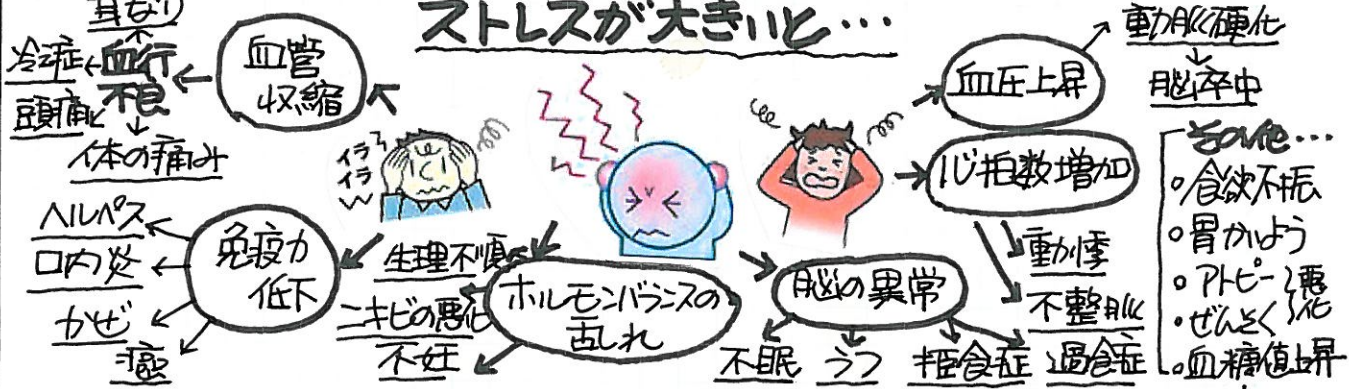
3月29日 生まれ
3800g
妊婦さん
待望の男の子!
母も元気一杯
おめでとう!



生まれてきてくれて
ありがとう

万病の元! ストレスから身を守ろう

現代社会はまさにストレス社会です。人間関係や仕事上のストレス、パソコンや体の不調など、日々様々なストレスが私達を襲ってきます。4月は特に進学、就職、転勤や移動などの環境の変化によるストレス、それと気温の変化によるストレスなどが加わりそれが5月になって体調不良という形で出てきます。言わば5月病です。



◎ ストレスから身を守るには...

〈ストレス解消法〉

- ・思い切り泣く、思い切り笑う、感動するなど感情を表に出す。ため込まないで!!
 - ・ぬるめのお風呂にゆくりつかってぐっすり眠る。
 - ・緑の樹々の中でウォーキング。誰かと話せる。
- ### 〈ストレスに負けない体をつくる〉
- ・ミネラルやビタミンを多く含む玄米・雑穀・緑黄色野菜・海藻・ゴマ・豆などを積極的に食べる。最適!

ストレスを受けても死なないクロラ!

一般のクロラは外からのストレスを受けるとクロラ同士がくっつく。くっつき、塊となり、その塊が死滅後、死滅してしまいます。しかし! バイリンクのチクゴ株クロラは、ストレスを受けた瞬間、体から多糖体という特有のエキス(BCEx)を分泌する事でクロラ同士がくっつくのを防ぎ、身を守り事ができるのだ。しかも、ストレスが大きい程、たくさん分泌量が増えるそう。どんな環境下でもどんなストレスにも打ち勝つ強じんな生命を保持した「クロラエキス」を、それが「バイリンク源液」と「503」です!

一生消えない? Xのストレス

もし、野山を駆けまわす鹿のウサギが突然、クマに襲われ大きな傷を負い、大出血してしまいます。葉も医者さんも存在しない自然界ではウサギはおそらくその生命を落としてしまうでしょう。これが私達人間だったら、すぐに病院に行き、止血をし、傷も縫ってもらえるのでウサギのように死んでしまうことはありません。手術も同じです。Xで切開しても麻酔をして脳は眠っているため痛みも感じず、傷が治れば元の生活を送ることが出来ます。しかし、たとえ脳は覚えているけれども本来ならば一生解れることのない外の光や空気に解れて体の細胞一つは、その瞬間「死」を予感し、一生の時のストレスを忘れる事はできないのです!

・ストレスから細胞を守ってくれるのは「バイリンク源液」です。手術をする前にももちろん、過去に手術をした方にもおすすめ。私(倉)も帝王切開2回なので毎日飲んでます。

